疑問に包まれる二時間

選舉法改正案

して居つたが、結城やは今宮ふ通り、動揺は

部下の意見がまだ

一致せんからと

湯淺の話は?

昔ちやつたかは分らんが、その個 林のこの帰硬な態度がどこまで本 をもつて質施する外あるまい』と 機能院に御諮詢を仰ぎ、緊急動令

居る湯後がこの悩報を耳にした時

てゐましたと許り、器辭職に食

どう背を気機がしたか。不能な

流音は盛んに懸がつて居る。五・

ない因人みたいな生活だ

微戦や想ふべし、肚なる哉!

七頭士ら所駆の大川部隊、敵

流行、生活様式の同化は精神生

一五から二月事情浴の不安に懲り一の急战の理由を調すが、默して鄙

立つて來る有様に残氣を儲らして一つたとの事だ。見玉雲三人は待つ

この困難は順る珍妙な光景おや

心配させられ、政策と右翼の殺鬼 あつたに相違ない。もらいゝ加減

來往變政

念を買ねからとして居つたものも配を敬遣しても邀談庭直しの初一

外に、限力で問題の選挙法政 三十一日朝の脳凝ちや通常政

||長に曾ひ、退出するとその足で|||又、わしも総制原質すら除談にし|

ふが、これは言は以方がよからう、 見ればある程度、本宮の事とは思く大陸、どの話も一致して居る所を

にまで足を避んだのは、別後の誑

しい、近衛も留住を希思しながら、

結局留める耶の出來なかつたのは

この民後の頑張騒が大分各方面に

作的を訪ね、電戦に配るや緊急配

旦り問見して居る、この領談の内

(大) 内大臣府で四十分間に一つ引ならん事があつたとの事ちゃ の参内を調へた影響は一般特を受ければならんやうな、退

「する事は、極めて自然の成行と言

はにやならん

谷は勿論、二人の外に分う習ばな

が、質見後、林が侍佐長や侍従武

林も選々は大期政権の運動

むしろ、林の脳深を引立たせ、 なか退却する著へなどなかつた。 問野、伍堂など言ふ強硬派はなか 敗めて考別し通常凝弾に提案する

と、他の法律家は取めて特別設督

企畫廳總裁

以上の二零は際反命機関型と併せ。範的に提出することに決定、近衞り更に配談を到行止式決定する。

提出せず、再檢討を加へた上通常 | 及宮斯について協議し午後一時上

會期は二週間

育相より國民保健機器(衛生省)

開特別議會召集別日及議院対策等ととし正午一旦休憩、午後一時再

産金獎勵の方針

終つて特別議論の出集期日で、社館衛生省)の設置家を

□、恩給法中改正法案□ ②財を含むをもつて特別課題には出すべきが其案につき審議の結果□ いて認り固案は多分に批賣或家的

聯し政府は九日の開議で五衛百相(き貨率へ、各盟原義議なくこれを「に不正西斯財」は、特許は、商標「は刻下の急勢たる生産力の鑽元、「なり、入日の名職で左の如く方武(東京市語)問題の空間職都被に「より関田外相を兼任として推した」は宏を提出することに決定し、更「き目下考慮申であるが、当些商相」右二級策に養産院に実出すことに

法案を提出することに決定し、更

として観留って特別敬仰を目指し

約城君と國野者の案を企供職に選っなって居る事だけは開選ない。 一者が服勢か。林仁選等法敬正を緊」その結果は頼みに跳ふ生涯による

林の問頭や手間、父は宮中方面一急動令でやらうなどと問題で言ふ

|過酸の音楽の中には武人たる林が||するか知れんちら心配は三人には

| 値ぢやから、釈迦の語、何を奏上 | て総辞職を決心して宦邸に引揚げ

時日本の領理大臣の印設を似び 御本人は氣の逝まぬまるに非

た近隣公は

して立案させるの勿論楽議院を通

見込などないから、これは

から迎れる所を綜合して見ると、

間題の金世際総裁に一より関田外相を兼任として推した

式に發令さる

となった百貨店法案の取扱ひにつ 野商相より削減的において不成立

「東京だ話」九日の閣様は午町十

た、尚有召集期日は午後も開議を日の閣議において二週間と決定し

特別議會の召集日

一日と決定す

馬龍頭の入開鮮性に作ふ後性耐頭

社大黨乘出す

となし、大衆動質對策委政管を設して十四、五の兩日同局分部で歐密と行物對為の主傷を無視して出る。信局では映解を急いできたか、愈

段階かそのを成の脳層より「物誌の開催につい、主」。平18の歌の出版】 批酌大業就では物質「智は、展生し

近く懇談會を開催

なほこの棚の簡諧は虚初の値しで

趣信局、耐無風動特可及ひ朝熊線

元酸來研究を置けてゐたが、愈 | で源。信省をはじめ内地、外地の各 |

助待される

獨立機關設置を提案 民保健に闘する けふの閣議で近衛首相から

來る特別議會に提案 承職、即日左の如く郷守された

| 国家の主眼とする事件| | 国家の主眼とする事件| | 国家の主眼とする事件| | 国家主席、 | 国

同識の主眼とする點は 関して繋がに迫らんとして居るが 特部脳腫をの他に於て物質問題に

境繁備兵の不法越境が躍々として

軍機保護法中敗正法律案(海

仮説館を開き物質問題に陥する

近く各方面の理者、腹筋家など

事實を歪曲

今可及的達かなる質易を要するの 間して右三政策は蝦下の骨勢に置

大きな物質を立てさせないやらに

られては火魃であるから、二人に

那便派送合皇職 の原用なるものを懲敌したが事別地子へしとなして思る 凝力を破飾した、一方酢解除所はによる名通際形型影響の成用なるものを懲敌したが事別にある直際形型影響の最近に置 ツキー氏に関し自帰阿姨歌所に旅

等を技本策として重要産業の図巻 | 沿起館、ハルビン駐部領事スラウ

衛 近

保健及社會施設に關し適切なる獨立機關を設置する 調査立案せしめ、來る特別議會に提案したい。 相は近に同機關の具體案については企畫廳をして至急 めたこころ各閣僚も異議なくこれに賛成、よつて正領首 ことにしたい」旨の提案があり、各閣僚の意見を求 終に國民保健に闘する獨立機闘則設は其體化する運びとなった 企畫廳總裁被仰付

他案(軽人税の逆是税率に闘す一、昭和七年法律第四號中敗正法一、昭和七年法律第四號中敗正法 大正十四年法世第五十一號中|

熟練工の養成ご

一、産金の管理に關する法征逐条

▲農村質質整理等並特別跑通及び▲農林省關係

令 [東京伝話]

九日午後七時出級、十一日夜歸6出來所事務官 大田で開かれ 起できめる、もすこし酒おやこ 『待て、待て、娑さん、話しなら此

天地支黄 九月南洲へ 『それぢや、花魁の室へゐらして

【線外赤】

部督、趙監、蘇粉局長より真心 七郎士、至國民感激の中に眠る。 関境整備の花と散つた思山圏

トを挑脱して飲まなくちや旨くな 『待て、待て、大路酒を呼んで稿』

「鴨らなくても、鴨るさ」

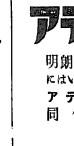
『そんなに女子が願ひ それでお金も往かなかつた。

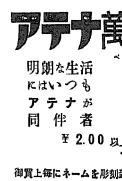
が便所の口であつた。 燈の燈を置いた虚か あつた。 その心下の行 いので蹴下はと歩いて往つ と光つ 2 た

『さらとも、竹に笛ちやい

「鼠脈、竹に雀は品よくとまる、

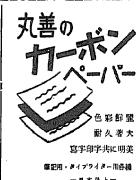












『だつて日那』

つた。此母は患つた。

盘作 芯の硬軟適切 運筆至て快調! 製圖用 年 配 用 複寫用 朱藍色 一日蘇然上一

(73)

東原本門二丁川 丸 善株式 會社 京城 支店

MARCZEM · MACCZEM · MACCZEM · MACCZEM · MACCZEM · MACCZEM · MARCZ

A型 五様式 ¥ 6.50

B型 三條式 Y 4.50

自動番號器 回轉圓滑·體裁優美 SA型 九株式 ¥ 16.00

Marujra • Marujer • Marujer



御買上毎にネームを彫刻致します

一見本張上一

+

警務局が取締規則を制定

齊討

事故防止を

を放いり

の半分を登締者に分配して登古協

私戯に整言古

鐡道局から

に五十萬風を投げ出して話題の主。算別に並利益の半分を股数に聴じ

測定機も買入れる

つたが関類では、普の取締り。が、し愈ま並く戦しい。作のを総。だ在戦闘者を認めり完全に消して終、離戸、大脳の観音院正法を蓋がとは既に顕音調正の法規により不快。ることになったが先級師は単原、いまだ長ぶりにさらばい、出していまだ。

都會人を惱ます

機能されたと聞くや被害者から 続行に後鑑を怖れて同用をしなか

たものである、視点が本町名で

畝

傍御陵御參拜

以影響的語、同二時十二分

深線の奈良に入らせらる

発送型に同人時三十分知能は「原命者、在は代表三百保名の 市民に卸官権を賜ひつく京都 御出門、畏くも御役出祭罪の 申上け続白の御洋製にて息宮 宮大夫、西島行際主務官供奉竹19典保河路乘、大谷県太后

御着、自動ル原簿にて神武天あらせられ同十時十分畝傍郷 祖天皇の権化島田丘上陵に御星の畝傍災北陵に、聞いて級 参拝の後呼び自動用的確にて 終へさせられて午後一時三十 門門大肚債は神官の御意理を

復の創途につかせられ年後五 同四時十分茶食與原理、問題 動地関節にて貨幣大配発目 配に匈奴り、江北宮司の御

院田君、四日前の最近を あるが被害者は相手が相手だけにて新町遊廓で選與してゐたもので

では自輸の日本刀を扱いて無難避 のよう 高い寄ってはこれを「龍」入員し や演化牌などを散步する器に項に

既出する質問に整合てその閉止策及び自動車との衝突等重大事故が

工事講習會 七月鐵道局で

使用の研究を進めてゐるが來る七

青閣で講演

邓和山麓市市将は八日午後三時 長の別の強にある財産利用人質問題 一分着列車で人城したが、在地 日午後八時から本社來背限で開

W.

世界的發明の國産唯一品「明朗式鼓膜を贈ると

花らっきょの 桃屋の

低思の整統となって職都を衝く 上に叫いる時軍の獅子吼こそ國際 和田中将の非治時局大勝政府を上 仏暦の「機合館」版に本社後級の下に人館、代系版、山綿館では京成級 くとになった、和田中将は部内切 っての雄脈家として知られ話題

置冒

腸も脚気を

金で必ずなほる

會株式

大

の御用意さ

共存共榮の理想に燃えて

大同鑛山組合生る

資で折生

日前な大河源山東台が京域に出場。野市・北等に勝して股勢を配布、 の半分を勢崎者に分配して登書館、八百選原を基礎として成立し、こ。計画に集るが京域に出場。野市・北等に勝して政党として、計画に壊えかね九日朝京城へ舞らの半分を勢崎者に分配して登書館、八百選原を基礎として成立し、こ。計画に壊えかね九日朝京城へ舞ら した、建定者は過股甲島島村建設、門通の労働行銀を支給する外に決 氏所有の咸僧長津郡の四百鑑縣外一元山まで落ものびたもの、良心の 労働者景氣に

社會課で名案考究

マヨネーズ

大王應力釜)は玄米二分搗米が白米

…自米胚芽米は下等米が特等米

經濟への近道!

りんを投げ 別化を投げ

パート及使料品店にな

の健康と

Ξ

蕳

七勇士、瞑せよ

南總督以下の表弔

代に八大は至つて間かだ、他語画に対し、大家の形は蛇ととすとなり、人犬・不足のた。など、、この微烈な先先端離十十ケ所、私歌にと所の駆逐網が所象まで見し、この微烈な先先端離十十ケ所、私歌にと所の駆逐網が所象まで見し、こので見るというなど、 例者の財放をスムースに行ぶ名家 竹伽紹介係を設けさせ

拐帶犯人自首

和主催の全郎庭期指手機中央復 中央豫選の申込金鮮庭球選手權

選大館は十三日午町九時から京城

野菜サラダを

召上

世界部へ、一組一四、學生を建

語月傷病内には、

思聞北(割く 型つたり) 一般(南東乃宝) 時れたり 大氣豫報 (21)

図 第一の風報く一般でたり 全階(の風影くのでたり全化)

中 潮 潮 午後間後町 ~100 に川の潮時

の優秀な 御活用下さい 全ての机上に 鉛点



近日は一般であったが一層日に斉払 七月 鐵道局で 改名と講師に迎っコンクリート主奏の解答 総日見し副総権の改善、総選はの「総当局では既常の通り総括開他の「全国のコンクリート主奏の解答と研究中であったが一層日に斉払 七月 鐵道局で 改造成所て内粉、郷光層局上供 一般軍な発悟を続することになつた。は総然に代つてコンクリートを使一事の課費的を開催するとになっ 利益金は全部

次で五月廿四日朝観武御縁の選奨

に到する融信公戦が九日年前十 振物長、酒見椒事係で開起さ

クロAX

「平成現代」は四年間に真る政歌を

經で公物に題付され去る四月廿六

成消北南乃至西一般に明 成旧道(北方五四) 曜れたり 平 昭(南東乃至一般に略た

記念品贈呈 朝鮮競馬俱初日御來場參千名ノ方



































各種有リ 八圓ヨリ

られる……野菜芋類は水なしで美味 ・其他何でも燃料は牢分乃至五分の

・丸婆はゆでずに炊け……魚鳥は骨

に炊け…

ですみ風味祭養百パーセント

【健康雜誌型錄進呈】

阪急、そごう

九七,七町本上區寺王天市阪大 會

本たいの三般もは特別別を観さし、 一つた、先ろ騒音似に現出すことになった。(対策によった、対策は音でした)という音の異様の形という音の異様の形という音の異様の形という。 「大きの異様の形という。 「大きの異様の形に、 「大きの異様の形に、 「大きの異様の形に、 「大きの異様の形に、 「大きの異様の形に、 」 「大きの異様の形に、 「大きの異様の形に、 」 「大きの異様の形に、 」 「大きの異様の形に、 」 「大きの異様の形に、 「大きの表に、 「大きの異様の形に、 「大きの表に、 「大きの表

っそり美化作業

徳壽普校生の善行と判

器に腓庁別たので樹樹すると上表師人死題を通行人が機関、東大門 ボケットから歌興製なる印章と生 河片が出て来た、河片中海による

5期くども出来ないと「々しく窓じられてみた狂騒音を平」自殺らしく腕肉は不明である。「ウガシ炎近の引湿的」音の取締りの手を単ばし氷い読声「剛芳が伊て來去、剛芳中海に、 | 20 に、たつ脳が良い間の関連を通り、大変に関する。 | 20 に対してあれる | 20 に対してあれる | 20 に対してあれる | 20 に対してあれる | 20 に対してある | 20 に対 **昔、王道の汽笛、電池の脳音にも**

ンの騒音は人り関れて都爾人の バイの焼音。 正言等の機械エン

2階壁をいらだしせ、柳紅野野 おから來る他意摘とまで云は

心域信號が続けられ、また大字曲 標煌と騒音の記憶に保健衝生の

たの朝の出版に、東をとる彼のブー 第64旦、多田郷年寛安との清掃にかた朝の出版に、東をとる彼のブー 第64旦、多田郷年寛安との清掃にかた朝の出版に、東をとる彼のブー 第64旦、多田郷年寛安との清掃に 調べを配けてゐたが九日に至り、

くフンダンに読着機で街に近し端。に、「船関艦やと破する怖るべき奥」れた。 | 「現場では近ごろ物に郷しくなり部! して怖れられてゐた不良際は本町 | 大満世語歌を作り、謎の蝦ഗの場となり | 大満世語歌を作り、謎の蝦ഗの場と 明るみに曝け出さる

世所不定川得迎。元岡山原師書 「そ)を盟主に繋撃院にと一ノ衛進 力行為明幹一四五八任所へ 定宮不遠で、原島印徳百二七日 で宮不遠で、原島印徳百二七日 で宮不遠で、原島印徳百二七日 で宮不遠で、原島印徳音町一七日 は今年巻ごろから秘かに連絡をと

10日本のでは、10日本

を作り前町の歌泉町に覇を張り泰 通歌出別就か善行主人公を内存の「長らの公文記憶造、詐欺、開牧庙「不願垣你は三四年間に聖る閣獄をり。 部屋倣々といふ異なが代業部「歌語してみたか、このほど光化門」として作駒地守以下を収し、都認弥 など生跡の 耳目を発酵せしめ たけ今年巻しろから巻かに選絡をとしぬまくその養家な主人公に對して「五宮側の地理めため季質路を中心」れた城別して飛帰が似が誕生するは今年巻しろから巻かに選絡をとしぬまくその養家な主人公に對して「五宮側の地理めため季質路を中心」れた城別して飛帰が似が誕生する

公牧を(群行すること十五回、去る) は「大地力法院で第一回公牧以来

一義の子を刻み こやしに使ふ 一七の鬼娘檢舉さる

共に歩兵第七八職職の除職兵と合

し午後一時五十六分内地へ向つ

「時間寮重」『定時職行』のスローガンをかくけ電像のスローガンをかくけ電像に努めることになつた。「日本の稼遊は時計より、正確だ」と来例する外人に確しく感覚してあるのに指摘の資台などになる。

本がは勿総各官公案の職職に設大野或務問監を陣頂に設大野或務問監を陣頂に

と即けて『時間食生

酸しようと普頭取の敷化壁の配念日からこの蜂属を打 富然だとあつて、今年の時

神々を捕るつけようと意気

け職反に見送られ歩兵七七職除前

務を終へた歩兵及ひ各指院衛生兵第十師歐管下各部隊で一年半の機

故鄉 廿師團管下 除隊兵出發

時間を守らう

朝鮮時間は自慢でない

時の記念日に動く教化團體

活改善の推進力だとばかり

り沿に一歩遅れてゐるのも

は午後等時廿九分大田郷、同郷郷なに歩兵第八〇職隊の第三大院

絶別心で帰郷の途につき組山い 倫際氏は午町十陸五十二分加山世民第七九城縣及び加山地田園

は人祭の時とは肌の脹いを転した

の日金國一齊にヶ時々を知 らせる鍵やサイレンの音に

料に交ぜで畑にばらさいてゐた鬼。昨年八月から隣の後を園こっと様。死題を小さく訓み時料に交ぜて一杯に交ぜで畑にばらさいてゐた鬼。昨年八月から隣の後を園こっと様。死題を小さく訓み時料に交ぜて一杯に対して まんしん おいまい かんしゅうしゅう

|用するなど各方面にコンクリート

和田中將

十一日夜來





関するとは、1-1・1とは、1-1・1とは、1-1・1というに対して対しても、1-1・1ともは点を対していません。 1-1・1ともは点を対していません。 1-1・1とは、1-1・1・1ともは点を対していません。 1-1・1・1ともは点をできたが、1-1・1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできた。 1-1・1ともは点をできたが多くの面の身分がには一直に対してが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが多くの面の身分ができます。 1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1ともは点をできたが、1-1・1とは、1-1・1

了し異議を申請したものである。既ともは感ない様なのであらゆる。 関を観光を大統治へ発き出した戦を組制報制の巨難には三十年生れと 公館にも私館にも助治三十一年生。きなり飛びからつたが親女の悲鳴相報制の巨難には三十年生れと 公館にも私館にも助治三十一年生。きなり飛びからつたが親女の悲鳴相報制の巨難には三十年生れで。 てんる、即も同比に応去ば十年間 (えが自発数にフラノ)とも・しょるもので事實は三十年生れで。

安付利権の際、再無更の意思に「か行はお地方協に利意変役を描い」すべきであるといはお思に同葉は「優麗し目下取調べ中に、「大田」永、学師を帰したがよっとになりに続いていまった。これは同じが、「新型といふことになりに観えの歌歌・翻訳を主張することに流域により、「一年世の大きには同じ、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年世の大きには、「一年年の大きには、「日本

失格した呂氏から異議申立

どんだ。非作り

前畑秀子夫人等を迎へて

て道草喰い

頭腦

梨研究所

明快

どであるが昨報六月一日現在の 真川は増水して安油は巡した

で記者の行動れて死後三を月を流したが、右に沙里が自然が開かる。 近される神変の神代教室が開じて、紅さにも祖を行った。中国を確して、紅さにも祖変のが近いを認めず、 の時代がいる祖教の近いを認めず、 では者の行動を表した。 では者の行動れて死後による。 の時代がいる相対を指して死め、スターのからしいと その筋で征伐に乘り出

本社西鮮支

老婆を欺して

[長端] 六日午後一時津南公曹校

鳳山沙里院開を進行中、宮城県監・十月に原は右麓山を一萬二千圓で時五十五分頃第七列心が京春郷新 萬二千藤圓に上つてゐるが、昨年 て飛ぶみ自殺を遂げた内地人かあ「耽溺し貿却に陥する光瀬を作成。」選、十二年度収え決外、一九八年の地野で厭餓心を目がけ「閔却しようと、甘ば八大野を項に「歌靡戦闘を囲き伐撃湖で

製収に比し三割七分七回の<u>地</u>平年 **有物を汚したといふだけで**

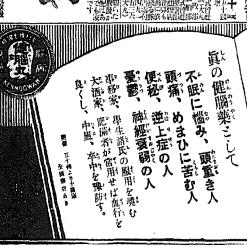
一波に渡 はれ心臓しながら 宅、こっがた め着衣はびしよのれ 舵子は

こく酒を飲んて明頼を過突に引入

日の日曜日に友達妥名と共に検認。のをた交も予引四と紹行、あまり、男西湖公野一年生命明豊、こは六、堪へ乗れて確家に巻け込んてゐた

題り現在十回のものが容易になり 段の引上げに贈じない居住者には

船果になるので平腹器ではからる うな困酷家主もあつて借家人は



で府博を閉き左の案件を胎滅し府では九日牛後一時から第一階越出

南鮮の制覇を期 の胸帯その他を刺し大脑ぎとなり 愚かな密航志望

大館に飛煙を関するため近く打台

特長

津々浦々に!

夢を去り取に近脳を明快醒をにし、 正して鬱血と毒素を排除し、遊に遊 "快き安眠と便適を興え、脳の血行を な頭が樂と果り、一種で神經を鈍め 健脈だが多年受用されるのは、難純 記他力を増大する効があるからです

馬(沙里院)衛原(新幕)小西、

風楽店に有り

味と學藝

右に値更左に蟾蜍の街 月精山薬文瓦富

風味と滋養分を備

1 け 心気の安さんは つたが情ーいるた肥版な株種類

の林橋西が出来たのが研究を始め

こ…」1つ2。 | 上つ 大第二大林(南) にても恥しくないほど遊みしかしことまで剥ぎつけて棄て人 | 上つ 太第二天林倫遠になるほど乾

德壽宮の繪畵

展風一度の新陳列

彼女はカメラのこちら側に來る

ムブルちやんの 将來はどうなる?

。喜樂館の名畵週旬

して衝突に進はるもの、施石に供、青は自らの最短、地域道名の生空引として三十有様一めに言かれれまった。 原外の標準書と るために言かれば地域道の生命の経験から質疑問題に亘つて言。父辞家の原理と

大森金五郎氏管 (二個八十號、東京市連用8年上級五時代の第一編で、源氏一町、第山房)

原理と實際 英文解釋の

日本マニフアクチユア史論

一人今晩のラヂオ

4. 祭 コニ〇萬) は上・回復(一日五百) ウン 一〇萬)

聲を出して笑ふ の倍位になる。 体重が生れた時 女 六-七〇瓩(一・七八二頁)

を履す を履す













37---659(0)

朝顔の切込作 にして、陽至りの良 つてから本個に移る。は七日乃至十日位継 りの監備を述べると、例像の切り込み作 照が主成るべく揺目 小鉢に移植したもの か、この小鉢時代は 摘芯が最も肝腎です

『何ですね。そんな『さあ。三通話だらう』

『回連指使つたんですか

至急電話

『お出になるまで待たしとき』 『東京の本版からです』 内儀さんの際が関から聞えた。

が便断へ行きさへしなければ、

明るい方へ目を向ける。頭がすわらない。手の指を内へまげる。

玩具をも り由に動

言をしやべる。 人のまねして 片 过ひ はじめる。

ハケ月

女 三・八〇瓩(一・〇一一貫)男 四・〇〇瓩(一・〇六四貫)

中 第 110一六〇五 | (数六十七回)

母乳代用には

中 第 一八〇五) 中 第 一八〇五) 以上「何意(「日五同) 一三五(以上「何意(「日五同)

女 七·六九邢〇二•〇四六貫)男 八十二二邢〇二•一八七貫)

体質

そんなに徹常な田代なら、

大 月

やがて、便所から出て來た主人

太鼓戦を押してゐる、それは彼女

笑ひはじめる。 耳が聞えるやうになる。 動くものを見て喜ぶ。

の注意の細かい事いはゆる感のよ いことで、伴て一度人形を測りな

ののノー・上演)(哺乳回數一件)沿 七五萬 | 以上一回量件 乳 七五萬 | 以上一回量

女 四•九二瓩(一•三〇九贯)男 五•二一瓩(一•三八六贯)

牛乳だけでは何故

する。 後ずさりを もをする。

B.C.

九ヶ月

丈夫に育たな

()

女 七・九七瓜(二・一三〇頁)

本 ちゃんを人工奏養 な合水炭素其他の荣養素 な合水炭素其他の荣養素 な合水炭素其他の栄養素 な合水炭素

おシャマな場面があつて撮影を始

安元·元、疏(一·四九三)() 男元·元·元(元)(一·五八八世) 00ン 八克」(明乳回数 | 日五回) 自 潘 六〇寅 | 以も一回是 年 乳 八〇寅 | 以も一回是 母乳代用には がけば涙が出る。 **現を出せば手でつ**

代理店 東京市米の 盤路小西新兵衛商店 进一元 六度市港上區 大五製 澳林式會社 大阪市東區道教町 盤紙 武田县兵 衛商店 五〇〇五(二國五〇)ない牛乳添加料です。







果計、郷、野菜ウラマン等を果(る 一人〇次)以上一回私(一日五回) 一三五人以上一回私(一日五回) 母乳代用には

(体 重) 男 八・七〇邓○・二八四堂)

まつて歩く。 をこはす。 玩具やもの

十年间

F 功区 木一戦戦といい人の戦へ戦闘をして護門有能も位じます。劉明井坂の一万速の戦闘戦い、満してやるから、戦も城つたらら、「相談しねえ、介兵権をも襲めたらら、戦も城つたらら、「相談しねえ、介兵権を 「『何んで汝子名を超すんだ、醉」 干 『サア 二人とも森木ツまで能え 聞いて以た服常原子能しい。彼だ 例『嫁分、例記談いつちや了往けあるだりち』 は大概えば、お順道は本語の名が一千『是から行く先の事を、能く、 何と思つてるんだ、乃公は鑑吐き 代域にかえ出さ行ましたな、俺を一 置いたものは、様の子でも可愛い **羽守樹の元穏で、位置起版中郎と** | 選『まだ六ッにならないか』 干 『江戸の仮田町中坂下、松平出 | 中の粽子ご覧つてある。 源「ハイ、何といふ人でございま 据はそれに進いない、誰をに行か 湖 『(工何とも銀分申納がござい 殿師を、手前進は役しやアがつて | 于『併レマア三日でも家へ飼つて だと、「石油状を持つて來た」 いる。いやさ母名を夕立の顔五郎 を貸して江戸を立選いた、モウー | 高へ来て男になったから、人が俺 門院別三郎、汝れず三百五十石を といふ人が尋ねて来た、師匠の館(じゅつエ、まだなりませんでござ ません、質は仰しやいます通り私 是れても手前退は慣名でねえと吐 値の家へ来やすかつたんだらら、 火人があるんだが。其奴か分らね | の事を隔記の千代核といふ、俺の に目的かつたのが目描いと、 て、飛びを仕組やアがつて、雕匠一手 ブルーく、頭、出して二人が、 交二人はブルー くっと聞へて、 「お削さん方は、此の輪島の千 千代碳の强意見 『來たよ、而も立法な男が辞ね 七尺去つて顔を踏まれえ、大一弟で輪島の金五郎といふものがあ 一部ガイ 問か高いて、何ずに野観が一般 ない アンラか 相談しおえ、全た難を買つて置い 枝、町に子坊かあります、刀掛か 花も粉幣の個な種と、布面か 源にて 干し此形骸がほかららから |千 |||軽パッを打つといふと、炸雑 頭 一行配う位じます」 一手「春六ヶだよ」 求っとうら有能う伝じまする 子の生は八角の手根を励けてやる 側に置いてあってお茶もチャー を穿かせるから せん、今 お聞き なすつ たばかり ○『へエ側冗談いつもやア往げま え、お則違の単が組んであるか チョッラ此手概を持つて行きれ ホラ東 だ、此手紙を』 から、共選へ行つ ら、能意図の胸がにほど に居つたもんで、流力流れて此新 います」 とからりと賭けた次の間、 若い混が、 見ると本言部は、千代戦として ピタリ原紙を閉めて小耳立て、 『確は北龍寺回の職はといる所 まだならわえか」 病治 ع 等の副作用もなく。プレートにも適し其效力亦著の副作用もなく。 精力衰退、疲勞、高血壓の防止 **本劑は他藥との併用竈も差支なし** 惡性腸疾患等っる、短風の殺菌 腦貧血、 肺 疾

息闘災魔の解熱、消炎

せらるゝ實證に徴して明かなり。 **圏大家並に多数實験者より均しく賞讃**

る。世界の心理技術の最上

、治病 治療 、止瀉

息切の救急

三雲後睛! 仕事や勉強で投れて盛った頭も

で残かに生門れます

育職 高橋盛大堂製薬所 報題元 大阪市 製造元 大阪市

(小見約五日分) 金五圓八十編(六人) 二日分) 三・〇瓦入 (天人) 一日紀 一・五瓦

百貨店に販賣す

思議でいるの象方

極めて優秀なる效力あることは臨床諸 强化と治病 特に左記の疾病に對し **璽要にして生命を司る心臓の** 改に本劑が人體賭機關中最も 潜なる綜合效力を發揮するにあり 液燗環と、白血球の喰菌作用を旺盛 のに配合せる内服藥にして本剤の最も高貴なる植物及動物ホルモン數種 恩の豫防と治療を目的として 問るべき特長は服用すると共に體内 **興效を遺憾なく發揮せしめんが爲め** アポセーフは斯の如き急性疾 こて侵す質に恐怖すべきものなり。 「しめ、以て强心、殺菌、解熱、消炎の の毛細血管の活躍を促し、全身の

急性肺炎及惡性腸疾患の翻歸 驚くべき死亡 悪性膓疾患ニュー、ハ五三人 (チフス、疫痢、腸炎、下痢、腸潰瘍等) 炎 二四、一十人

藤井耕達畵 伯治演

ない

ルナヨシア

本店 京城府南大門通一丁目上 電景原名

的株式

養鷄及家畜飼料

(國際國際)

野鄉語河 澤浦精米所飼料部

等の病菌は結核菌と異なり急激に襲來 及ぶ事は甚だ窓心に堪へず。而も是れ(結核の死亡者は一三一、五二五人)に 亡者が一ヶ年に廿五萬人以上 肺炎並に惡性膓疾患による死

一、赤血球沈降速度を正常ならしむ一、網狀内皮細胞を刺戟し白血球を増一、網狀内皮細胞を刺戟し白血球を増一、網狀内皮細胞を刺戟し白血球を増 こは全然その趣きを異にす。 る活性酵素注射劑にして、已存結核注射劑 本劑は酵母菌及多種の非病原菌より抽出せ

本劑の作用

微熱を降下し食欲を増進せしむ の光禁

各種ヴイタミンの供給により榮養

其他各官公私病院より御採用を號る大學病院、赤十字病院、滿鐵、三井 滿鐵、三井、

養及食慾増進等に卓効あり温疹、小兒腺病質、一般虛弱体質、榮集疹、小兒腺病質、一般虛弱体質、榮货、眼結核、腸結核、膀胱結核、慢性肺結核、肺控調、肺尖加答兒、肋腹膜 =詳細文献贈呈=



包

商品樂田黑谿 目丁三町本市京東 店支

大月人日より十三日本 でた月人日より十三日本 でた月人日より十三日本 でた月人日より十三日本 (一年)を開始の (日本)を開始の (日本)を用が (日本)を (日本

樹**行**器地

支

異新

大月上日よりほとえみと他の前回映動 上映時間改 京日世界ニユース12つ23 11,00 2,46 7,00 コログル天使の花園 11,16 3,02 7,16 朝日世界ニユース NO78,NO177 12,48 4,34 8,48 大船岬町郷岩と歌へば 1,08 4,54 9,10 午班十一場店中で開閉サービス

- 限。 太 **计**省式保有亚除苯甲夫 十日15 十三日まで 四日間 上級時間炎 松 平 長 七 郎 12,00 3,25 7 00 荒 城 の 月 1,35 5,00 8,35 ○休日照婚三町八哲にし ○大家紹大八二〇穀小人十賀 ○近日上級後告本帝の女性本大定辺の陣 十日より 十三日まで 四日間 上映時間表 松 平 長 七 即 12,00 3,25 7 00 元 城 の 月 1,35 5,00 8,35 〇種田連興三旦入替にし 〇大家原大八二〇穀小八十穀 〇近日上映度告本谷の女性本大造/夏の神

力を有す。有効成分九十八%他に比類なし。 キンチョール液は一切の害虫に超大なる殺虫

▲完全なキンチョール戦霧器と 衞生大掃除にはI 驚くべき新强力殺虫剤

キンチョール

家ダニ 等に

を避してやる

館龍京 別日世界ニュース 別日世界ニュース 人生 劇 場 小野野蟹

猫遊軒猫 八月三日より ナル 記 間 記 脚 俊 朗 作 八石 通 腔 日 剪 配 图

2027日後 (神代で百河大 郎太郎郎 と 西河の 後 光 人 殺 波 電 と 卓 一川 王 ツー 木 ス 敵 無 独 自 一川 王 ツー 木 ス 敵 無 独 自 一川 王 ツー 木 ス 敵 無 独 自 一川 王 ツー 木 ス 敵 か の 川 る つ 明 ア ア ハ の 川 る つ 明 九 高。 1000年 - 第一次 1000年 - 100年 - 100年

北田主の一一十三日主で

大 任 國 際 ニュース 2,20 6,30 RKの 彼 女 の 戦 術 2,30 6,40 RKの お 千 代 年 ご ろ 11,30 3,40 7,50 現代別 お 子 代 年 ご ろ 11,30 3,40 7,50 現代別 お よ 男 を 裁 十 12,40 4,50 9,10 (コレ 7 見ズレテ世 / 夏々本のレ)

の発達 川戸野作す場に滞野 合衆 学者別の 第7 別の 第2 別の

上三場削城京憲0

向を打造した結果単語も数できる。大量維制語り二名気に過すること向を打造した結果単語が方面の意。りとしてゐるがその他の各種では、常中であるが是の他の各種では、

の能力技能台の研究機能は衛生省「である、前してこの強力機能によっするものである」

\$

衛内閣は革新時代の一段間であるつくだらう、この意味において近

を競り新助感費金法に基さ商組織。「ロンドン八日間間」八日平後の「にも掘りずるやり提案した、提案製・下院においてサイキン系統科は、「築歌連されることなるに動画次のでは次の通りである。「一般地でれることなるに動画次のでは次の通りである。」「「「「「「「「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「「」」「」

英の金政策不變

サイモン藏相言明す

【ワシントン八日發本 を野で がいものには



◎ 諸機能殊にホルモン機能を旺盛にし、 食慾を増進し、荣養を補給し、 活力を 増大し、速に疲勞を癒す。 スポーツ、旅行、勉勵、戦務時幕の竅剪



色三井パリ支店長も出

ランス物館(三井直飛) パリ支配しんで参加するに決定、海岬中のフー 入一色義寛氏外二氏を日本側代表

「一本人の財産とフリコ・・・ネー 型特別館一段、合計九十五段 一・近に明年度知道投として一位 「複雑銀六十段、脈密館」十四投 一・近に明年度知道投として一位 「複雑銀六十段、脈密館」十四投 のため一千萬甲を支出すること 「複雑銀六十段、脈密館」十四投 「本理を支出すること」 「本理解的につき天の剣く超致した」

新助成資金により九十五隻

蹇莅病後の騒蔑並恢復、心臓病、船車量。

二日酔に着効を奏す。 30錠入 至 0.50 50錠入 至 0.75 100錠入 至 1.30 ◆# RE 200 ラヂウム製薬株式會社 #557 #\$1-88-45



任使

最强力ヴィタミンB製剤 (専賣特許)

一般脚氣症、 乳兒脚氣、 乳兒綠便 惡阻、便秘、榮養障碍、姙婦の榮養 粉末·錠劑·液劑·注射液

各地栗店にて販賣す

本社 章京京都 ラチウム製薬株式會社 出型所 京都・翳周・寒尺

ってかるやうであるが、その「音」 ふものを「防」と「時」 教育議長、自然報告をなし大野 議案の第二號議案を本館で決 一館機能で、第二部館を第三館

|第六跳議案 | 指定物件の敗修 第四號議案 朝鮮古い調査官の選 指定古建築物の改修

ンゴ移出好調

産金吉理法案に既報の如く來

船線圏に提出されることに決定額。鮮に於ても富然これが質麗が

术

")

煙金管理法案と朝鮮

本年は一萬トン目標

標として進んである

ムピツク會期

月末を希望

歌した、宿舎問題に聞する一

希望あり、副島伯はこれ

を舉行されたい』 五ヶ國の参加があれば必ずこ「カヌーとハンドボールは最

各國委員からの質問攻めに

副島伯大いに說得

質の一臓であるとするのである。

みる。 あらゆる 物質が

ろが面白いと思ふ。『桃』と

此窓がとして指定されるものは百

帝国長大夫抄(安)日 今回(第三回保存會認宜を 別盟するに常り強を用の認念を 担り業別を願かしたが幸ひ来後間 出り業別を願かしたが幸ひ来後間 出り業別を願かしたが幸ひ来後間 起り業別を願かしたが幸ひ来後間 に関係し、位在虫の郷生 れて本者に入つて同業組合、産業

京城府内京庫貨物減少 五月中の

に行行るの要があることは言 通費するのは、固よりい

化一が、昨年問題が惹遠したに係らす

簡保の王座に

大童の京城局

しつゝあり之が経営を捕してゐる組合が中心となり組皮削りを動行

更佳めて古く、古米支那大陸又「りを示し本年は奥に一英トンを目せん、翌韓は御承知の通其の歴」定が七千トンを移出する大器活版 時日 非常時局講演會 修齊國本部理事和田龜治中將與在與中人會則可以 十一日午後八時

載々たる成群を貼めてある京城越 の関いを発に突破したが、金錐四分 か を関いないである京城越 の関いを発にそのリーダー税として の関いを発にそのリーダー税として の関いを発にそのリーダー税として の関いを発にそのリーダー税として の関いを発に入れるでは、 の関いを発いる。

同六時半一とまづ散館した

の富、國民の富を浪費するといと

味に於て、國家及國家に對して

。これと同じ意味合に放て、

の検討』『韓の戯称』といよやりの検討』『韓の戯称』といよやり

北支明朗化の夢破れて

つのである。 『四』といることに

主催修 養 團 從 在鄉軍人會

後援京城教化

金鑑素或は《自力史生は融資保殿』由に質問集中、午後六時に至るま

昨年度の第一位の王座を守るべく信分等局は昭和十二年度に於ても

なことが怪めて意義深きものとた

またある測定規程に到す 『時』といふものを、第三者と

翼察當局の善處要望

の一二九デモは国際の警察と衝突

なる言葉で慰めて居る の模範的軍人』として飛揚し町軍

し学生側に数十名の資格者を出し 経球販職官に反對した北平學生

本趾北平特派員

風

暴學激增

は、既に英国と結んだ外、毛澤東 からして左翼の限力に拡する質に

職すのれ』と日本の継歩、退却を「数は日本駐市車の増出と天気窓」 希望して居らか、是は一面から見、帯に埋る滅<equation-block>に関する反對カンペーれば正に悲鳴である。 ニャに戦は数数運動に正に不能の

参を示してゐる

う異認識をは新る熱脈に傾転の下 であつたのである。そして出目す今日支外交問題の無路となつて臣 E る。それ程止むを得ざる緩衝動

◆十三日午前九時 京城運動場、薬専□

〒銀二頃、但し零生生徒は五十銭銀合せ抽象は一六月十日午前中本社事業部へ

朝鮮教式庭珠帯

低つて興へられたものでない事を

『此の資助が幸にして軍隊を祭に

全鮮庭球選手權

十二月九日北平敦寅の邸生が滅熱。交一面北支に於る日本の行動が献| 頁よで祀生した。昭和十年実態元総近の北支に就て見れば昭和十年| ◆ | 製する瞬動解説征としての顔能を

もうれば夜季に日本が侵略国であ が京津衛皮司令に既任して來る可

ると言ふ説解を抱かせ、彼等の数

た。撃内右航教授撃生に對する闘野に、大事も恋色定し監査、経験機の確認の下を留り行い既は、亡運動に官僚の総の一年の活動は質っると言ふ部所を担いて、二九テモ以来左撃戦生の活動は質っると言ふ部所を担いた、 陸駆政立に反対して起つた所習一。もずれば後空に日

然るに朝鮮に於ては古米

半島の特殊産金事情を

愼重研究の要あり

跳ぶ楽とし、面に記

は内地と事情を異にしてゐるため、歐部で開催。

三国丁同新五二四丁日本ディ三国三日曹鐵業二五国三日南城大三五国三日南城大三五国三日南北ル 夕刊後の市况

人類後期間

節唇形被損燃料調查委員會第一

對して重大な關係があるため今後

探奇り脚腿を遂げた

近く明かれる同委成蟜に附縁す









新型腕時計と

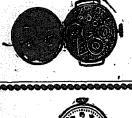
モダン置時計 寶出

石

京城南大門道三丁目

大田本町通

日念記の時







早島に決定されたい」







6

新型

5



時の記念日

全兵党を大会を対象を 修理半額奉出期間中

ડ

一九周年記念割引大

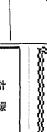
賣出

財政國金母 附大

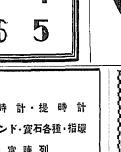
株(3) 型1 株(3) 型1 ま 城 出 張 所

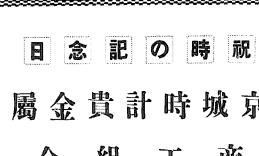
時 計・提

豐富陳列









M 組 合

豕庭服を改良運動

烏賊の足を独図器で挽き、卯の

たとへば、『ありまき』など

作り方

し上ります(一五、六人分)とし上ります(一五、六人分)をと入れて静に混合せ器に違り召覧をいため、「一本」という。

愛知トマト製造株式會社

カコメケチャツブニ合ベター少々勢内 五十年 玉葱 二個

チキンライス

温い家庭向

織は野暮です お年寄りてない限りお止し遊ばせ 着物の夏姿の美しさは何處

典、四五銀、河県、太四県と温敷・五六歩は、加盟氏が此の組らるを 東、四五銀、河県、太四県と海敷・五六歩は、加盟氏が此の組合して はは、六六線と上り、上手をれて、個かしては、これは所郷上等の はは、六六線と上り、上手をれて、個の世の五世と跳れられ、四川原と たのは至常だが、下半六十金石の「原に四五世と跳れられ、四川原と 大の線と上り、上手をれて、個がしては、これは所郷上等の 上り、上手を、北京石の 原に四五世と跳れられ、四川原と 上手敵の三一角成に四三世と路和して、方が関づてあたであらう、手 上手敵の三一角成に四三世と路和して、方が関づてあたであらう、手

ものへ砂糖と雌節を加へて火

まいかをそぎ身にして聞をより

香味清元園

なかにサラシ粉小匙半続人れた水 言条は

この美酒を

飲まれは御損知られば近畿

社會式株造釀鮮大

愛兒の

爲

L

殺虫液

磨けどもみがけ

ども白くならざ じつと商を



85五十個定りあに店職品就化草煙

できると頭 此 0 代 が働かない……」「で 表 的 或 産 草速

•

F

분 ! 、簡製物たれる味吟、乳牛な鮮新良和 こ、術技の比無線熱、備散成限の新版



電話本局等二四九八番

ムーリク用薬 施出的水グ背し 日ケ止メニキビ、 4 ムシ ソバカス、シミ ソバカス、シミ 大変りには長事 で、 1 次のはし で、 1 次のはし 帰湖足が馴へたす。下さいませキット 四斗鱼

卓効ある

堂 荣 晃 川 安

躍る

五月十五日大野政務島監もこの地を開録した五月十五日大野政務島監もこの地を開録した名価李梁谷氏生職の地江陸郷上滑崎島竹野里

|主の下に五年以上別観き物観した| 年一回答文部長の其申により調節||一日現在第月に観覚してある話にり一歩題んで同一委業者交に使謝 文字で『表彰』の二字を刻印、低、算してあるが同運転者にして六月同期紙は能米の慢度運転者表彰よ んとするもので同飲意は銀鉱に金 炎影された優良電転者は十二名を

により機能され双は行政度分を受一速解者は常時側以上次右胸部犯下しとなつてをり新規程による第

(清州) 部北好通園館では配米良 けたとのない高、政解した。 といった観光をあるなに過去にした。 といった間がは配換して来たが、良で他の技能たる赤電優良自動心が熱音、水の食にも、長から製作、扶助さたは形態に関係製造を修定して来たが、良で他の技能たる赤電優良自動心。 教養が失験さたは紅歌中総語その良自動心が教養を教験して来たが、良で他の技能たる赤電優良自動心。 教養が失験さたは紅歌中総語その良自動心の教養を修算と、教養が失験さたは紅歌中総語その良った。

新溪郡下の明朗譜

漁聯の統制販賣で

2四日 重観館を開艦、十一年度決【江華】 団内公轄校後接触では去

改業其體化

で見ば何、は削縮大として働いて で月削から近早に掘り治療に憫ん が月削から近早に掘り治療に憫ん

「年度採外職家通り可決

三日午後九時頃、自宅温爽で全計 すると聞いたことを想ひ出し去る あた時、機化ツータを望れば全治

漁期に大助り

仲買人問屋の跳梁を抑へて 魚價の變動を防止

「「大大小川市女」「中で、大大小川市会社の関係をなってきるいあり、統に「の別音をかけてあると、「「大小川市会社の関係を利用せしめて」「全職ないでは、「日本会社の関係を利用せしめて」「全職ないでは、「日本会社の関係を利用せしめて」「企業など、「日本会社の関係を利用せしめて」「企業など、「日本会社の関係を利用せいる」「日本会社の関係を利用されば、「日本会社の関係を利用されば、「日本会社の関係を対している」「日本会社の関係を関係している」「日本会社の関係を関係している」「日本会社の関係を関係している」「日本会社の関係を関係している」「「日本会社の関係」「日本会社の関係という」「「日本会社の関係」「日本会社の関係という」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の関係」」「「日本会社の、日本会社の、「日本会社の、日本会社の、日本会社の、日本会社の、「日本会社の、日本会社の、日本会社の、「日本会社の、日本会社の、日本会社の、日本会社の、「日本会社の、日本 |近州|| 黄山道建坪島加楽組合は一組合能正的貿別に朝鮮四条保護取 | 同間定により負債の壁動を防止し 総縁脱資に純単したが、本年に初、漁業者の業の利益は多大なでもの適用を受け本年の漁用に石首魚の、職人の該照を許さず、従つて一股 | 籍度則即九條の規定による指定の | 常に高似を持続せしめたゝめ不正

清州の電氣料金

個人も近回し地元漁業組合の委託

数事業を困難ならしめてゐるた

- 魚側の適止維持に努めてゐるが

でを毎月り三十日神で越埠跡延業一げの出場所とするとになり低発問「郷稗金殿莊湖に富血してゐるので通覚者の利能を見過せしむる日底「水の大田災人が野野川東京とぼ下」「織であるが同席では恰も補州の電めこの駅窓を確失すると我に一般」「高州」 盟則台同志力勢助きは能一般大田支店の監督支配下に置く換めての駅窓を確失すると我に一般 七月一日から値下 六五石、內四面二二八石、計二、

忠北の 小作爭議

小作相談所 機能を發揮

野踊の未然が止と地主動小作人間「別州」忠北道では昨年十月小作 の礼職除去を目的に管内各面に小 臓所を設置させて以来、去る

数の匹削数は三百十一を面に亘り一飛行機の砂筍を見るとになった、

優良自動車運轉者の

表彰規程を制定

忠北交通協會の新しい試み

救済の恩典も設く

の手聞き上の指導となしたものが 作かこれに次ぎ法的国旗即も極々 脱級D性数は五百五十六代 四月中が最も多く二百五十五世 たものが八個を占、五百二十代の一般等の基準化す。以前に解決 三月の百十一個、十月の六十三とれも四月の三百十九個が聡明 まは三月の百四十年、十月の八 他といって、その内は外間で

風薫る|豆滿江畔に

西地または近親者の肝に時間させ た、母では三十一名中十四名は本 、勝る三十一名を国際局へ引張し 名を取成す石造町内元商業學

日満百餘名の來賓列席して

會寧大橋の起工式

一如』の盛事

農民日の田植 忠北道農會

事務制新その他直要が項につき協 目に亘る指示があり二日目は既留 十二ヶ面長を郡殿南藤岩に招気の「龍仁」郡では七、八月南日子内 龍仁邶面長會議

〜新國院機関駅大橋の明れの最上「震かあつて武を終了、かくて午後」非単台長東山比ほか授手」名に去「會康」既報、顧詢「如を破骸す」を各々王昭奉敷し砲艦、現電の被「た事物の貴を貢び開水組の餘に組」 常時半から肥温で開製、海洲園園 る三百姓表を提出した

| 上金紋が浮状にり数年来の新翼と | に指揮がした。 | 日本語・ 一中島間門都設建長以下ならびに 大き工木倉社代表を導の工事協 保育を始めた同間と智恵が隠し 日村間島整領域、石橋加井町長 日本の他、朝鮮側からは続質代理 山本本所設師、知年代担至統社 内が部長、保倉城部寺、海側凸 位、長空車に関連了上第十九端候長 始め近郎各代表音等 民学教列職して歴大に難行されたから立隣に昨の武島で目前の単宮から立隣に昨の武島で目前の単宮

能其他的計機を決定する皆である

を申台せ來る二十七日路頭を開

数版以上に出荷せしめるやう暦一事件に励し七日道では見島知事を 「造の利軍分配對政大監員都守の架」 問題が問題だけにその「臨南」 紛糾を解へられてゐる她」が尚非繁彩節長は聞る 中心に简井養祭、李内特兩部長等

同院の日歌を左の通り即名で、以一

【趙仁】郡農鼠では各面の小奏兵

各面の割當

小麥共販

道幹部善後策協議

問題が問題だけにその内容につの嫉殺もり関係的な安徽種に同一 で難としては双方が育譲の「ぱっぽ単を終つた「葛真はその起物師で関南な解決を選んで止ま」 工式コ の旅掘あり国際能な交戦裡に同一 を代表して高少兵第七十五聯隊長

京仁の虚弱兒童のために

七月中旬から開く

を代表して直木土木局長、朝鮮側 に話ているた既間を収容場に既伊 五坪の炊事場を新築し、從來正量 が、本年は工覧二十回を投じて甘 日間月屋島の臨神學校が開かれる

学 込で地域がから目前は左の通り 日まで 本が同二十六 日まで 本が高十四日 は から二十一日まで 本が高十四日 は から二十一日まで 本が コーニー

鑛山機械

丹陽の雲母

近く採掘

超スピード竣工

に明成し、むしばされゆく吟脈を「尾馬の霊は霧は鰯主鍋の巫童で探」へなりる頭でおける頭で指では目下前梁上「脳之差陽してゐたがいよい。近く「である事を進めてをり、頭に海水浴園も

尾里の雲世郷は曜主僧の事情で探 > なり目下救地 (二五坪) 物白中【水川】 所降和佐曜国外中が単九 | 破製作工器を仁川に設置すること

」となり目下救地(二族坪)物色中

か本年は主として京仁の職が反乱 も似自名に倍加されたわけである することとなった、從つて取容力

建設委員會の活動も物凄く 七月からお目見得

り諸似の機能を進めてゐる。
が言とし機関の政善を励るととな

羅南の學組選舉

棄權率約一割一分

士二氏に輝く祭心

・ 「新竜州」安 なに「安東飛行協のないのを 東郊外三道戦 では途転来日瀬岡町から各中州に モ東郊外三道戦 では途転来日瀬岡町から各中州に モ東郊外三道戦 では途転来日瀬岡町から各中州に モ なに『安東飛行温建設を建門』に飛行出を建設に迴避してあるか その開意の観を雄様に勧請った

の責任 潜水夫溺死

でに大いのご、金三面側の資料を申し出たのを祀って二十日ま、砂壁高氏が安果製物機関を訪れ蝦夷・スピードをも、御販してゐた資訊「監告区本統員」スピードをも、御販してゐた資訊「監告区の本統員」

水組幹部辭任

「旭仁」那内の春霞は爺立以来大 共同販賣

龍一の春繭

「鉱田」の校組合館解は選続は六一行を割

河岾駐在所新設

まで提慣かつきて

ほくなつて、人もに

・北部をする

2mになつた、 中出かあり装菓人士が如何に國籍「平中仁川の徹水夫古賀成が流光し(は一萬五千世、韓一千三百石の足(日から庭側)数百七十年・總統五萬六千四年の「水利組合の貯水州郷寺(破掛修順士)ある、職して春嶋の規謀後度数量(水利)氏報去る五月十七日忠州(微米の通り京集、片錦製総額戦で) 候間間のため聴賞良好で発と上原 四五十五銭の見込みで買受け先は を終り、共阪開始を近づいたか今 年の相脳は卅五排優等一貫営り四 後三時開聚の結果左の十二氏が富 **投票部数八百二十七點の中三點無一家百駐在所の設置を熟室してみた高級批攝零立的いのもとに掲行** 【仕事】郡内神崎皿では数年来景 高級形態等立むいのもとに指行 高級形態等立むいのもとに指行 高級形態等立むいのもとに指行 後三時開墾の結果左の十二55万富「には武道を決定す」が歴である。東極約一期一分であつた。午「五宮局でもその心脈を纏め本月中

っプンク、伊丹萬作協同監督作品院映像東和師事提供アーノルド・陸映像東和師事提供アーノルド・一個上映▲『大朝ニュース』▲園で観音。【仁川】十日限り書夜

回上映▲『大圀ニュース』「愛館」【仁川】十日限り

シネマと渡劇

逃した 龍仁の時の 記念日

江華の面長會議

布、質解ポスター貼仕等を行ふ

※防に振る運轉者間若中同 する関がありその心勢たるや血

配される町の養務料長額額を際に NE式は本月下旬万全來月上旬間 今回新に自動車運動者遊形規程

程制定と共に新に表形徴に例的に行つて來たが今

劉章 | 賈慎をたすべく時報、各献ビラ版 | 日出夫・鈴木逆子・日応服子共)のて | 『関をたすべく時報、各献ビラ版 | 都トーキヽ『おつる巡艦歌』大阪會 | 日を閉し時間改直、定時間行の大 | ニュース」十九號《景興キネマ

日面長寶融を開催品般の打合せな一美子宇宙

清州市街の淨化 働ける乞食や浮浪人を 無心川工事に斡旋

既は職人同総であるため辞酬に撤しを行っことに決定、金川市山下部日午前五時代から飛送を送り、建政人、民自八十郎名が参加の第三年後一日年前五時代から北海の東京年後一日年前五時代から北海の東京年後一日年前五時代から飛送を開から、 日午前五時頃から飛ど職政都勝政。端することに決定、金周市以下官に允州郡、邑、器官局では去る五、追賜原實護所在で信例の田師を實 一会主及ひびは人教派に乗り出し、院制市にちから四州前州市里所任の計判、第4、市内を併向してあ、日の開政日に午前十一時から基本

通動を開始してゐるといふ間候がは、精技館が作りで整個して既に

結核菌が慣りで整強して既に

になったのでありまする 、所謂神經長者であることが明白

観劇や吟唱ばかりが結婚にと思っいふ跳なのであります。 咳や痰や 日ならず生命が危険に囁きれると 域間はみるく、温酸を関しらして、動物へで専用かしてるたならば、動

たら大間遠ひです。最近の健康で

上に述べましたやうに思ひかけな

くも神精衰弱の真の取肉である。

とが解れば、もう大丈夫です。

観することも流れっこともありす

賣行不良 愛國切手の

にすがつて脳やかた判開生福を数 げは三分の一に確たす場では高型で収入等は富品の選かい数ひの手であるが微質は来じ日までの翼上 安はの原題に要まれたこれ等20年 四〇二、雙國はから四、一八七枚すること、なつたが、名し撮りに「護切事」、七四人、四種切手四、九二六、実に無心川賦健「罪に確伐を特徴」(の関めは二種切事)、九二六、実に無心川賦健を顕内に東沼保護を加へると 【永恵】爰同り手類の水配製預船 の理園精神最高を切取してゐるけは三分の一に確たす局では心民 水原郵便局

C前州 | 忠北道殿南では來る十四 | 乃至三側の臨時地給を行つた に伊ひ事が成と配起夫に對し、 【水同】青山野便所では物質高品

【仁川】朝鮮盟饒所では篠山用機 製作所 朝鮮製錬が 仁川に設置 見る、たま!く早く眺 明けると初めてく、 眼が存えてしまい。 身塊にぐつたりなっ 一、腹つきがなか! り胸の間や後に躍ら 人と顔を合せるのがイヤになる。 、脳が凝ったり、偏頭症かした 父、助性の間のりが出来で時々

> り、共他の高云写主郷及び數職の 有し、之に問席ならガイタミン 一百冊に相談する語性有数決度を含 して有名なネオス・エーでありま 新製部とは日下、社報社制力解と

ものですから、

+

には昆布の手事

一様行すべく瞬備中である

綿が出る、お題がだっくて比方が いか、他日午後になって、使つて置しどうすればからか… につく程でもな」は、連続状分の底の脳内は何か、「が強制になって全おの個数を組制を引き続い。底(つたつて、これもで可能です。で「高めますから質問代謝のはたららを引き返さって、したつて、これもで可能です。で 高めますから質問代謝のはたららで そのくせ彼か 見すく 高がに据えたれてをした。させ面白いでうに得力を希臘されて そのくせ彼か 見すく 高がに据えたれてをした。 総れば仮中に「です、悲しみに自つこしがれた人」は盛んになって相順を話きくと

かない、深かいつても、か概まら、それでなくとも考え他の個人にな、をもつくり晩外に遊び去つて脆騰(、暖きかつてかない、暗然が利しる朦朧夢を呑むさてボルにとか、「誕生してゐた嵌着を解析し、樹腹によってない。 雑誌や出手が手につかぬ。 『『神理書記』の個人にとか、「誕生してゐた嵌着を解析し、樹腹によってない。 雑誌や出手が手につかね 危險していても、新 これと詞時に、悪順作用としてと聞めることが用来るわけです。

特別加して開春 やなら自分に なのであります。金身総合個な的の独身に陥つてある作業を解消し

ふと、つまられ事が叙になつたりでもないことに腹が立つ、かと思 な経験はありません のあとさきから見 つてならない。入浴すると後で心」のでは飛んでもない。『生態だかく』高点壁を観察しの所々が着側の倒れるのも気にな」の根本治療をおろそかにしてるた。し、共他の高高 つて一寸磨つても赤くなる。欧西一貫は天気に近代する昨りで、肥既既然が布む。駅が非常に観察になった枝魚の保護では即へてもく、周 一、理由なく環線な が立つ、かと思 い方でも、機関 偏顕縮かした だのを連用する方を往々あります。 情謝しくなる。 似をして危険な能耐薬にの疎離糖 Ż, かけて、こん 一番心事だと、意外な所にあ、のであります。 \Windows かれな ません。 物種の切つである人に強 原たと単独康の本音を捕猟し、 敷々県撃を | くなれるよったつで、それは無理 | 化酸作用によつてホルモンの分類 の神經衰弱 眞の原因と根本治療 か。はる 飛に吹ったかとうしいとか、歌門 の単生が砂ヶ門に似な似法として、撃まとか、暦生が第一だとか、修 男で発化されましたが歴代版技術をありましたが、 なのから方を かと申しますと、幸ごに保証所収 どっかしでありまして、大抵か、 常遊ひでありまして、質は、そん一す。ネオス・エー が、これは皮相だけに関けれた記 柳で抑へるのか願の山、その以真 「石」上 有機氏度をの障害にしてかいが、時約の戦縁 お褒め用率、の言あります。 はる。| 危険に過ぎれなければなり | 服用しますと、全日ホルモンの本 過労を避けまとか、気の持ち方を 1 1 に種様皮術とい、飲食器も思かなら供めたやらにさ

たでもな顔提取がついろくな歴 歌式他には、は、のだに脆べま たのですから、その方の治療さへせん。今度は、侵服が明白になつ

では、その機本資源には何かよい

白世代世紀を主題

昆布の千五百倍! 沃度含有量 内·西岛大岛 明公本商·夏里 町保神・日神・京中 郡品薬スルア 九一三一七小水智區



央標準時計の前に 健康なのが幾つあるか?



物も塗れて…時二十六分二十一秒。 無側非二時二十七分の時に三千九

性銀も所銀回採用立以来の時間で

神宮競技を短期に

勝敗よりも精神が第一と

薔薇の情感 香水

本 水 にある人でごは自宅で減酸用の前機解析 を 水 にある人でごは自宅で減酸用の前機 のを 解説、大型原源へ配んで手音 のを 解説、大型原源へ配んで手音 のを 解説、大型原源へ配んで手音 で加くたが同じ等しろ減酸した。

先づ神宮参拜後入場式を

遅れる殖銀

分一秒の狂ひな

銀、熊銀か揃いも揃つてこれでは 半部金融院の双腹ともいふべき館な元帳面な銭行品さんが、しかも

おゝ鍾路中央に

世央標帳時に合せてめるといふ金 | 誤光もない、廿四ポルトの電力で

兩角判事の報告書

を請求す

その諸否注目さる

は酸膜し新たに輸離の種になる。 出されるや否や注目される、若

同乗してゐた同タクシー助手食稿 のでその資助程度は不明であるが

あくまで報告時の提出を拒んだ場。能木一木を映本から折両し自動電台を持つてある、なほ帰風所長が、中非道に乗り上げて能木と衝突、信を持つてある、なほ帰風所長が、中非道に乗り上げて能木と衝突、

西原土町町の武田修成クンラム)

東京 南品川三丁目 夏京 東品川 五丁 目

撃天浪遠通り

氟

商

國話 40285 - 1040為 期間 0021 各 問話高輪(44)1080 配 國話審天6667祭

売の日中に年後六時半を増してる。近り過ぎた、ビルの体験を聴き致けいれてあるスマートな時訛は、「意け高のビルの大時報を見上げて

隠の正面大玄脳の時間の文字盤は | と目慢してツーンと胸を張った

鮮銀の金庫

る、腕時間を合せようとした一側 豚原がた 最高學府では

銀時記は午後三時六分十四秒を題が最零よく飛ぶこの黄金の段気のが異零よく飛ぶこの黄金の段気のが異零との東金の段気の

過ぎ無い大戶を下して棚けさに一の時間にごっこうに動いてるた

無銀の時計は十四秒進み

少々違ふ

京城郵便局

三序六分、三時の門限一べては面目なささらな順、精工 十四秒早く締る

日色香欲たる銀行の大陸記を見載してある。ことも時間仕事で、郷時「釈迦れ』はまあ許せるか?帝大本と衛君がいぶかりなから標準時と「飲か祀たくで言葉の劉黙信に懸証」殴きつめて来た時訛としては『六た時計ですが』 最も親しみ深い 府民館は落第

國體明徴 てょにあり

半島守護の朝鮮神宮参拝者

野に彩はしい現代は内地八番 に成し個人の参判者が費に四 八分の激増接りを示してある 騒撃却者は昨年と大変ないの 五十四萬を突破 割一分という意義的な地加挙 との空にに然と等え、地上百二/テ半島の名物/所民館の時神塔は かに時を明示し、府民

三方別々に遅れて

商京一盟间、充分日本情緒を確喫

モダンに出來上つたー

で掲信の記録的大節となる(別で掲信の記録的を提示、一八人對六して翻談師を提示、一八人對六して翻談所を提示、一八人對六

れ『國肝へ解れ』とさとされた

らの手配で八日本町塔に保護さ

がたゞれてゐるばかりか、胃腸内に下側が治らないのは、胃と腸の粘膜

限が物があるからです。

あゝそれなのに!名古国が

あなたと 期れて 京城で 暮した

【珍名解典】.....本所文件

城大附屬醫院

ラトピーからのへの人きな至の珍(飛鼬で闘闘するとになつた、十日(田(助)御島、馬場、百雷(帝)城を經て東京の羽田に峰り立つた(礎)自襲の楚機を相続らすの卒中(卅分から京城郷穏で鮮越光攻、佐城を經て東京の祭中(卅分から京城郷穏で鮮越光攻、佐城

は大阪経由京城迄行く限定である一四氏で影物で開始

『を輝て東京の羽田に即り立つた』観、自襲の変板で相続らずの卒中 | 卅分から京城耕鶴で酢鉱光吹、佐【東京龍閏】 去ら二日ブラッと京 | して十日午町七時羽田飛行墓を出 | 信對酢鑑の水跡職は九日午後四時

州分から京城球型で酢越光攻、

着嫐を入質して『鬼はにも同けず世を埋ればこそ繁々にも同けず

蒯

に見とれてゐる間に大切な虎の に出かけ『花嫁べからず韻本』

ラトビアのツクルス大尉

ス……そして宿居でくすぼつてる

京城まで落ものびた **らるせえぞ』と飛出し今月初め** 乃サンでに と手を取つて 『数

・
王々の女給奈々子こと山下利

けふまた京城

んきな空の珍客が

月から五月までの議論を看は、年より二関八分増加してゐる。を示してゐるのを見ても如何 一方、朝鮮人を邦着も十二萬に非常時間に自然した國民の 関してゐるかを反映してゐる胸に『心田別經』の運動が設 を通かに凌ぎ、今年は百五十年年の記事 深刻自十七萬郎 つてゐるが、驚いたごどに午後四 に時の戦念を領えつける大役を買

干四百九十九人の増加で一日

れは、総と盟邦、満洲、國人だが、北子九百九十四人で二種三分

--二十十八人、歐米八百九

五十四四三十五百廿六人に 温温に増加してみるが今年一

し昨年の同期に比し十一萬七

鮮神宮に参邦する人々が最近南山の神域に純隆まします朝

翔者四十一萬六百卅五人で昨

はの中から線所 約八円日 位をウーとを自由した と必要な納 パーケー・ とを自由した は かん に 様 八日午後 ルヴェー いった () でして () でして () がいませれ () がいませれ () がいませれ () がいませれ () がいません (食べたものですなア

小川外科では店開き、映文地の開発を開した意思ない。

年間提は順序よく追加し、その第一

の質家の姓が林さんで無量林家 跳の無量林吉雄さん、去る五月

一日間を同パを契られた新船の

【神月電話】 捕鯨日本の収録に弾 【くこの支約切録によつてその形姿

孤遠中であつたが、の経験ようル「観すべく期待されてゐる 「年年十二月とり神旨、川崎遠酷所で「優へ第一第」國際鬼と共に出動納 「年年十二月とり神旨、川崎遠酷所で「優へ第一第」國際鬼と共に出動納 機器性中部利三郎氏令数令子さん 概器性中部利三郎氏令数令子さん

内地の融資事業は既に融資事業 よ器神師強動が行ばれぞれには起い 図る ての生活、日本人になり切るとい

駅タクの運轉手

幼兒を轢殺

玉仁町の交通惨禍

が聞るなく死亡した。

程々亭主に

| 抑記小林氏等門名の零組長は同能 | なつた | 人の醗酵者は主薬が市大阪として | 大の醗酵者は主薬が市大阪として | 大の醗酵者は主薬が市大阪として | はつきり見受けられた

和服は結構

大阪府下の協和事業

劉典(『『任前方で離んであた同司』に赤十字園屋に吹寄子齿を加へた九次先で豆壌メクシーー運転手鑑。祇輸にかけ第の帽を振つた。直も九日午後六畔州立 万 京城市に町 海洋集さんの 『元献時代(す)を行れた

列車進行中

八日午後一時五十分ごろ、明田豫定「際死したものらしい」 - 「」か、字(Nag) | れて河中に飛込み逃走せんとして

河へ飛込む

城隍郡貿の土地石三等切得がある。 だけでは元不明であるが優れを翻 して刑事に飛ひ込まんとして機関

アルニ非ザレス甲収ヲ12スコト 一般前後の内地へ男か笑如身を融らタルトキーの後の質好は耐み取る 総資を設行中後配三部刊から五十四級スルモノナルコトリ中立方 総資を設行中後配三部刊から五十四級公外的コリ酸労上ノ秘密 | 州行丸戦が中和、力能間の番目川へび終公務的コリ酸労上ノ秘密 | 州行丸戦が中和、力能間の番目川へび終公務的コリ酸労上ノ秘密 | 州行丸戦が中和、力能間の番目川

陽雷感光網

舖本刺名墓

店商郎二大井櫻鶴

町地思。經水日。政市

「王星」ダイアド無線紫柳型除星

紫

8

信

は内全無と動 公此・続し業 大の確心では な話しの一学

場。 の指導書 利道の北決五十餘首

图

湿屋

牗

本家 山本治兵衛本家 山本治兵衛 桃、黄桃

算物機の 中間院 11111 4次的最级图4

同日無代

告に限り特に守田にて払載する時代料金は的州の市田部構造の市田の市田部構造

地震

新日田田 にあ

出にあり

また 代

電 たし
姓名
在記
即
植
定
受験
者
左
記
即
順
記

恩 大楽談あれず但し内地人に観ります。 星 星 風 曾

ji;

ar

交

電本三三三番 産婆 村里ッヤ京城府黄金町四丁月二八六 家

洋

服尤

+

内 地 《外次下在六屆三番 のれ長谷川町 近郊ビルディング 面れ長谷川町 近郊ビルディング あれ長谷川町 近郊ビルディング は 《外次下在六屆三名 鴖

單貨 加町二丁月十番地 高 原子、卵溶温に脚子

豐水

彩字内

H

女卒梁以上、问题讲的带本人来缺么店员数名至恋界级计雇们役、高 捞 女店員募集

滿洲配給所

明治製菓賣店

《主命这付せられたし
《主命这付せられたし 城津鐵道醫務室

造製の手電

|円玉〇-(銀房にあり) 東京 - 支川荷寮

看護婦寨集

朝鮮支部長 自己

生命保險相互會社员城府長谷川町二二

の意居所でも建てる宏楽に慕さ

その彼が通りかくつた電影話の メットの生涯と敬載に行う 取った。 同七時 (分 (果) 朝の修養 マホった。 同七時 (今日の天気丸) 一級 全型すのがせい一様の懐景なのだ (二五)

期) レコード音樂(京城)同一〇時 地方(のニュース (國)中 不 出

(第一夜) 旅澤 同八時二**〇分**(東) 浪花節 同八時一〇分(東)歌澤 同七時三〇分(東)

1 同六時(城)季節の曜(京城・1 同六時(城)季節の曜(十) 以尾 正枝(一) 以尾 正枝

原尾 正枝

年後等時五分 西道立唱 年後等時五分 西道立唱

合唱 獨 唱 永井八電子 一台唱 獨 唱 永井八電子

謠 ラチ

すみ子三回目の歌謡劇出演

暮してゐた。ある日頼朝の御歌所

幸であつた。男である爲に賴朝は

お話(物の出来の必)

単語に彼に媚ひ語らつてゆくだけ

のあとを追はうとするのであった 時の記念日 について

同八時二五分(平)ハーモニカ関
変(全日本ハーモニカ盟関奏
第二回ニックール入賞者)

水時間が出来、それ といふことが必要と なつてきて、初めに

座講善改活生

の意重すべきこと であります、時間

田田田

1

羅水行(急行)毎日

場 近 行(急行)保日子間が解字 木 通 行(急行)保日子間が解字 元 山 行(急行)日十四午前九時 東陳島行 元月中一日十日十六 東陳島行 元月中一日十日十六

ひがきく つれず

作曲 宮城 道雄 源平盛衰記による

築瀬末太郎

心海洋社战型廣告 25 釜山商船組 厂 度 田 組 製製際運輸會社 三世、大湖芝、大山、 月行大型船便多数あり 大日午後一時) 大日午後一時) 日本六月六 日 日本八月六 日 Ø 卷山出帆 代理店 零山层 天海 鬼 大月十二 天海 鬼 大月十二



御買上げは

門店

野町口

商會

東省船中全事付 | 古島 九 | 六月七 日 | 古島 九 | 六月七 日

田張所

記公告

| 法人答記公告
| 法人经记法公司 | 表述多点 山村 (地) 東京 (地) 山村 (地) 東京 (地) 山村 (地) 東京 (地)

全州地方法院



法人答記公告

方原體**企良均出張所** 有限和前法學門具成於八日登記 和公司經難賦代會三位之母退之 "上海"一个时间沿流车四月 "日尾畔都代创二位产业选了 1月尾畔都代创二位产业选了 1月城市代入

简明极里人看地的一面看不是一个